

教材名 じゃんけんボール	
〈教材のねらい・使い方〉 ・ひもを引く動きを使ってじゃんけんに参加する。 ・グー、チョキ、パーの絵を付けたカラーボールを透明容器に入れる。ボールに付いているひもを容器から出してじゃんけんに参加する児童生徒に提示する。児童生徒は、好きなひもを選んで引っ張り、容器から出たボールの絵で相手とじゃんけん勝負をする。	
材料及び作成の工夫等	
① じゃんけんマークが見えやすいように黒いカラーボールにマークを張り付ける。 ② 聴覚優位の児童生徒が音によってマークに気付きやすいように、カッターで1～2 cm程度の切り込みを入れて小さな鈴を2～3個入れ、透明テープで切り口をふさぐ。提示するときは、ボールを振って音を出して注目を促す。 ③ じゃんけんをすることが分かり、意欲が高まるように、透明ケースを使用。	
題材名と児童生徒の使用似ている様子等	
〈自立活動（音楽的活動）季節の歌を感じよう～『花いちもんめ』〉	
学習の流れ 1 始めの挨拶 2 始まりの歌 「ドレミの歌」 3 ふれあい歌あそび 「いとまきのうた」 4 季節の歌 「茶摘み」 「さんぽ」 5 童歌遊び 「花いちもんめ」	花いちもんめのじゃんけん場面で、ひもを引いてじゃんけんボールを出し、相手とじゃんけんをした。 透明ケースを使用したことで、ボールを引っ張り上げる途中経過が見えやすく、本人も周囲の友達もわくわくしながらボールが出てくるのを待っていた。 
※自分の得意な動きでじゃんけんに参加できるように作成した、じゃんけんカード、じゃんけんサイコロ、じゃんけんスイッチのページも参考にしてください。	

